名古屋 成田山

発行所　愛知県犬山市
成田山名古屋別院大聖寺
電話　0568（61）2583(代)
FAX　0568（62）7020
振替　00890-4-19213
毎月１回25日発行
http://www.inuyama-naritasan.or.jp/

創刊 昭和29年1月25日（642号）平成19年11月25日発行　一部　１０円

平成二十年 新春
お正月ご祈祷 受付中
（詳細は八面に掲載）

開創五十四周年 記念大祭奉修

教苑

「野球」は難しい！

私の出身地石川県輪島市は、野球が盛んな土地柄で小学生の頃に上級生の姿を見て、誘われるような形で遊び感覚で始めました。

金沢高校を卒業して、中日ドラゴンズのお誘いを受け入団。体が丈夫だったおかげで大きなけがに悩むことなく、十二年間現役選手を続けることが出来ました。

現役投手の頃の印象深い出来事は、ナゴヤ球場での巨人戦で先発登板した初回に張本、王、柳田の三者連続ホームランを打たれたことです。テレビ中継があるからと実家に張り切って報告したにもかかわらず、いざ放送が始まった頃には違う投手に変わっていて、すごく残念がられた事を憶えています。

また、いつの年か忘れましたが、シーズン半ばで連戦が立て込んだ時期の岡山での試合のこと。その日は、選手が皆疲れていて先発できる投手がいない。この緊急事態に故稲尾コーチから指名され、慌てて登板しました。ヒットを十本近く打たれたものの完封勝利をあげ、自分でもビックリしたことを憶えています。登板試合に向けてしっかりと調整しても打たれるときがあれば、いきなり投げて勝てるときもある…野球は奥が深いと痛感しました。

現在、私はドラゴンズ合宿所「昇竜館」の館長として若手選手のお世話をさせていただいています。敷地内にはウエスタンリーグの試合を行うナゴヤ球場、二十四時間練習が出来る屋内練習場もあり、選手にとっては最高の環境かと思います。

プロ野球選手は一見華やかに見えますが、実力主義の大変厳しい世界です。実力があってもケガに泣かされ引退した選手、一軍に昇格できずに引退した選手をたくさん見てきました。息子達（長男剛裕氏、次男直倫氏）を始め、他の選手がこの環境に甘えることなく感謝の気持ちと、強いプロ意識を持って取り組み、将来の中心選手として大活躍することを願っています。

最後に、今年の正月息子二人と共に母校の先輩、シアトルマリナーズのイチロー選手へ挨拶に行った時のこと。その際、「イチロー選手にとってのストライクゾーンはどこですか」という息子達の質問に、「バットが届く範囲全てと考えている」と答えられ、さすがはメジャーリーガーと大いに感心させられました。

イチロー選手のように、地元の子供達が野球を一生懸命に取り組み、やがてはドラゴンズに入団してくれることを望んでいます。

中日ドラゴンズ「昇竜館」館長
堂上　照

開創五十四周年記念大祭

盛儀に奉修

十一月三日は当山の開創記念日です。

本年も大本山成田山新勝寺中興第二十一世貫首・橋本照稔大僧正のご巡錫を仰ぎ、開創五十四周年記念大祭を奉修、大勢の参拝者で賑わいました。

十一時からは開創五十四周年記念大法要を厳修。

橋本照稔大僧正大導師のもと職衆が威儀を正し先導僧に続いて信徒会館一階玄関を進発、本堂内の成田山索の会々員皆様、講社講員の皆様など大勢の特縁、篤信皆様に迎えられる中、入堂し着座しました。

不動和讃のご唱和の後、祭文を大導師に声高らかに奉読いただき、天下泰平、国土安穏、信徒安全、交通安全、ご信徒皆様の所願成就を祈願しました。

内陣にはご随喜として別格本山大須観音寶生院貫主岡部快圓僧正、東海教区長神野實圓僧正を始め、教区内各山諸大徳、成田山本山及び各別院のご助法を賜り、さらに信徒代表総代谷口清太郎様、

次ページへ続く

絶好の秋晴れに恵まれた十一月三日は、最初の法要行事として午前九時より本堂にて大祭記念大護摩供を厳修、引き続いて自動車交通安全祈祷殿屋上にて八方宝剣法要が営まれました。【写真】

法要には、宝剣を奉納された名古屋鉄道株式会社より代表者がご列席され、宝剣に華を献じ、益々の交通安全、社運隆昌を祈願されました。

開創五十四周年記念大法要

祭文

夫れ惟れば御本尊不動明王者、慈悲を内心に秘して忿怒を外相に仮り、相を奴僕に現じ而も其の住居なく但だ衆生心想の中に住し給う　故に衆生一度信を起こさば忽ち除災与楽の勝益を垂れ　一念神咒唱うれば転禍為福の大願を成就せしむる霊尊なり。

抑々成田山名古屋別院大聖寺は、昭和二十八年、当地犬山白山平の景勝地に大本山御本尊不動明王の御分霊を勧請し、本年茲に法灯五十有四年を迎う。

此の間護摩供の香煙絶ゆることなく、御霊光を顕現発揚。以て信徒教化境内諸堂伽藍の整備に努め、今や中京成田山不動尊信仰の総府、現世利益の霊場として確固たる隆盛を見るに至る。

是れ偏に御本尊明王の広大無辺なる御霊徳によると謂うと雖も、永年に亘る熱誠御信徒各位の絶大なる外護信援の賜にして、誠に法幸無量、感謝に堪えざる処なり。

殊に当院は、明年の開創五十五周年を迎えるに当たり、過ぐる平成十六年記念事業を発願。御本堂御護摩修法壇の天蓋及び幢幡の新調と信徒会館屋上防水舗装工事を既に済し、続いて心字池北側「憩いの場」造成を推進せる処なり。

本日茲に記念大祭奉修の佳辰に当たり、秘密壇場を荘厳、香華を献じ名古屋別院開創五十四周年記念特別大護摩供を奉修し、記念事業の無魔完遂並に熱誠御信徒各位の所願成就を祈念し奉る。

仰ぎ願くは御本尊大聖不動明王、速やかに明王護念の加被力を廻して、加持感応、天下泰平、国土安穏、信徒安全、交通安全の御霊験加護を垂れ給わんことを。

乃至法界　平等利益

維時平成十九年十一月三日

大本山成田山新勝寺貫首　大僧正　照稔　敬白

前ページより

信徒総代 東邦ガス株式会社相談役清水定彦様（ご名代＝松島延明様）、信徒総代 セイノーホールディングス株式会社会長田口義嘉壽様（ご名代＝一柳正義様）、信徒総代 株式会社中日新聞社取締役最高顧問大島宏彦様（ご名代＝佐藤良平様）、株式会社中日新聞社社長大島寅夫様、索の会副会長 福玉精穀倉庫株式会社会長社本宮明様、株式会社名鉄インプレス代表取締役社長山崎隆治様、犬山市長田中志典様、愛知県議会議員奥村悠二様、愛知県議会議員藤川政人様、愛知県議会議員原欣伸様のご参列をいただきました。

続いて記念式典が開催。始めに、明年開創五十五周年記念事業に併せ本堂大天蓋を御奉納いただいた財団法人田口福寿会様【写真】、四月一日付で索の会副会長にご就任された社本宮明様に感謝状が贈呈されました。

引き続き、谷口信徒代表総代よりご祝辞を頂きました。【写真前ページ上】

祝電披露の後、宮本主監より御礼を申し上げ【写真】、記念式典は終了しました。

また当日、鐘楼堂前広場では全日本聖道流空手道連盟による空手大会が開かれ、日頃の鍛錬の成果をいかんなく発揮されました。

弘法堂では七五三まいりを厳修、色鮮やかな着物姿、袴姿のお子さまのお参りをいただき、堂内はとても華やかでした。【写真】

前日の二日には弘法堂にて宗祖弘法大師報恩法要が営まれ、また本堂では十一時の大護摩供に併せて日本生花司松月堂古流尾張支部による献華式が開催、引き続き若水庵にて記念茶会が開かれました。

信徒会館ホールでは、成田山学童席上揮毫大会の優秀作品の作品展が行われる等、開創五十四周年記念大祭は盛況裡に終了しました。

秋の叙勲

本年は左記の三名が受賞されました。謹んでお祝い申し上げます。

旭日単光章　瑞宝単光章

青木　邦雄氏

成田山索の会
丹羽支部副支部長

松山　福和氏

成田山索の会
丹羽支部評議員

藍綬褒章

杉浦　郁子氏

成田山索の会
一般会員

祝辞

信徒代表総代　谷口　清太郎

信徒を代表いたしまして一言ご祝辞を申し上げます。

本日ここに、成田山名古屋別院開創五十四周年記念大法要が、橋本貫首猊下ご親修のもと厳粛に奉修され、皆様と共にお祝いできますことを心からお慶び申し上げます。

顧みますと、去る昭和二十八年この犬山の地に、ご本尊不動明王を大本山成田山新勝寺より勧請ご奉安いたしまして成田山名古屋別院が開創され、以来不動明王の広大無辺のご霊験、さらには、ご信徒皆様のご信援により、寺院としての風格を備え、ご威光世に広まりましたことは、誠に喜びに堪えない次第であります。

以来五年毎の節目には、数々の記念事業が発願され、その都度ご信徒皆様のご理解とご尽力により、これらの事業を支え、達成させてまいりました。

これもご本尊不動明王のご霊徳は勿論のこと、ご信徒皆様の熱誠とご当山各職の熱意とが相乗して成し遂げられましたこと、心から敬意を表しますと共に、信徒代表総代といたしまして、衷心より厚く御礼申し上げます。

さて世間の情勢を見渡しますと、国の内外で今もなお多くの不幸な事件が発生し、社会的な不安は益々増大しております。人の世の苦しみ悲しみを知るにつけ、今こそ仏の教え、不動明王のお導きが求められているのではないかと感ずる次第であります。

来年には五十五周年という一つの節目の年を迎えることになります。記念事業の一環として心字池上「憩いの場」造成の工事をはじめとして多くの改装・改修工事が行われ、山容伽藍が大きく整えられますことに深甚なる謝意を表する次第であります。

また、本山である千葉の成田山新勝寺においても開基一千七十年という大きな節目であり、記念大開帳の奉修時には参拝団を募集するという企画もあり、誠に有り難くご同慶に堪えない次第であります。

本日のこの盛儀を重ねて喜び、皆様方に不動明王のご慈悲あらんことを祈り、成田山の発展と仏法興隆、併せてご信徒皆様に、ご本尊不動明王のご加護のもと、ご隆昌と安心が得られますよう、ご祈念申し上げ、私の挨拶と代えさせていただきます。

ありがとうございました。

謝辞

主監　宮本　照剛

菊花馥郁と香り瑞気満ちあふれる本日の佳き日、ここに大本山成田山新勝寺貫首・橋本照稔大僧正猊下のご親修のもと、大勢のご信徒と共に、成田山名古屋別院の開創五十四周年記念大祭を奉修いたしましたるところ、ご信徒皆様方には、公私何かとご多繁の折にも関わりませず、当山信徒代表総代谷口清太郎様、愛知県議会議員奥村悠二様、同じく藤川政人様、同じく原欣信様、犬山市長田中志典様、並びに特縁、篤信各位、成田山索の会々員各位、成田山各地講社、講員各位を始め大勢のご参列をいただき、殊には真言宗智山派別格本山大須観音寶生院貫主岡部快圓僧正様、真言宗智山派東海教区教区長不動院ご住職神野實圓僧正様、並びに教区内各山諸大徳のご随喜及び成田山本山、大阪、福井各別院のご助法を仰ぎ、厳粛且つ盛況裡にお勤めできましたこと、誠に有難く衷心より厚く御礼申し上げます。

顧みますれば当山が昭和二十八年十一月三日、この犬山の浄地に大本山新勝寺からご本尊不動明王尊のご分身を勧請し申し上げ、諸堂が建立されてからお陰様をもって本年で五十四年を迎えました。この間、祈願の香煙絶ゆることなく、ご本尊のご威徳増々顕現せられ、誠に法幸限りなく存じますこと、これ偏にご信徒皆様の多大なるご信援ご信助の賜物と深く感謝申し上げますと共に、今後も中部の一大不動尊霊場を預かる私共詰合員一同は一丸となり、法灯護持、愛山護法に相努め、寺門の興隆発展に尽瘁する所存でございますので今後ともよろしくお願い申し上げます。

さて、当山は明平成二十年に開創五十五周年の節目の年を迎えます。年同じくしてご本山では開創一千七十年記念大開帳が奉修されるというこの二大法縁を機に、当山では開創五十五周年記念事業として一連の境内、諸堂整備事業を発願し、目下着々と推進いたしております。本年に入りまして三月より『天蓋の新調・本堂排煙設備工事』、六月より『信徒会館屋上防水工事』を着工し八月半ばには完工の運びとなりました。本日の大祭後に『弘法堂補修・修繕工事』をいたし、明年三月より『心字池北「憩いの場」』造成工事を執り行う予定でおります。ご参拝ご信徒皆様には、しばらくの間ご迷惑をおかけいたすこともあるかとおもわれますが、境内、諸堂を末永く維持してゆく礎になると考えておりますので、ご理解とご協力の程お願い申し上げます。

また明年五月ご本山記念大開帳のご勝縁をご信徒皆様と共にし、慶びを分かち合おうと、参拝団を募集する運びとなりました。皆様にはふるってご参加いただき、ご本尊・不動明王のご威徳に浴されますようお勧め申し上げます。

最後になりましたが、本日はお招き申し上げたにも関わらず諸事万端不行届きの段、切にお詫び申し上げますと共に、ご臨席皆様にはご本尊不動明王のご加護のもと、安心と希望を持ってお過ごしになられますよう、また尚一層のご家門のご繁栄並びに無事息災を心からご祈念申し上げまして、お礼のご挨拶といたします。有難うございました。

セイノーホールディングス株式会社

創立六十一周年記念祈願祭

去る十一月一日、セイノーホールディングス株式会社（本社＝大垣市）にて、宮本主監導師のもとに社運隆昌・交通安全祈願祭並びに同社グループの物故者慰霊法要が営まれました。

セイノーホールディングス㈱は、創業者故田口利八氏が掲げられた、労使協調・礼節中心・福寿草精神という経営理念の三宝を受け継ぎ今日に至ります。

当日は当山信徒総代を務められる田口義嘉壽会長、田口義隆社長始め、社員並びに同社グループのご重役が参列され、構内に奉安された成田山ご本尊不動明王尊のご宝前にて、めでたく創立六十一周年を迎えたことをご報告申し上げ、併せて社運隆昌、交通安全、災難消除、社員の安全を祈願しました。

引き続き、慰霊碑前に法座を移し、殉職者の菩提を追悼する慰霊法要が営まれ、参列者が順に焼香し懇ろに供養されました。

中日ドラゴンズ 祝日本一

中日ドラゴンズは、この度のプロ野球日本シリーズを勝ち越し、５３年ぶりに見事日本一を達成、重ねてアジアシリーズも優勝、アジアチャンピオンにもなられました。心からお祝い申し上げます。

第四十四回 成田山学童席上揮毫大会 表彰式

十月六日に開催された「第四十四回成田山学童席上揮毫大会」の表彰式が、十一月十日午前十時より信徒会館ホールにて行われました。

始めに実行委員代表細萱僧正よりお祝いの挨拶、続いて審査員を代表して津田秋月先生より今大会の講評が述べられました。

成田山明王賞を受賞された阿知和恵里さん始め、特別賞を受賞された学童百四十五名へ、賞状と記念品が授与されました。

四国霊場巡拝 実践

お大師さまの足跡をたどり巡礼する四国八十八ヶ所霊場「讃岐の国、高野山巡り」が十月十五日から十九日まで行われ、香川県内の札所と高野山（和歌山県）奥の院とを巡礼し、昨年四月より続いていた四国八十八ヶ所霊場巡礼を全て巡り終えました。

巡礼中は好天に恵まれ、霊場会公認先達である鈴木博・準特任大先達お導きのもと各札所とも全員が晴れやかにお参りできました。結願札所の大窪寺にて「結願の証」をいただいた参加者は、巡礼結願報告のため高野山奥の院を詣で、お大師さまに結願報告と御礼の法楽を捧げました。

柘植不動尊 秋季大祭開催

三重県柘植町にて、柘植不動講（講元＝坂本雅俊氏）主催による秋季大祭が十月二十八日に厳修しました。

当日は坂本講元を始め講の皆さんのご協力を仰ぎ、町内からは大勢の参拝をいただきました。山頂に祀られた不動明王尊宝前にて、町内安全、交通安全、お練りに参加されたお稚児さんの健やかな成長を祈願した柴燈護摩供を厳修しました。

真言宗智山派長野北部教区並びに檀信徒総代会

団体参拝

去る十月十六日、真言宗智山派長野北部教区（教区長＝飯島俊勝師）並びに檀信徒総代会の皆様が、檀信徒教化推進会議の一環として、当山を参拝されました。

開創五十五周年記念事業 ご志納のお願い

当山は、来る平成二十年に開創五十五周年を迎えます。

この度の記念事業として、心字池上「憩いの場」造成並びに境内整備の計画を発願いたしました。つきましては、境内の充実化にご協力いただきたく、玉垣、額石のご志納を賜りますようお願い申し上げます。

◇聖蘭堂玉垣　一金　二十五万円也

◇明王門下額石　一金　三十五万円也

索の會だより

開創五十四周年記念大祭

十一月三日に開催された成田山大聖寺開創五十四周年記念大祭は、大本山成田山新勝寺中興第二十一世貫首・橋本照稔大僧正のご巡錫を仰ぎ記念大法要を奉修、索の会では谷口清太郎索の会会長を始め会員が総登山し、開創記念を祝いました。(二、三面に掲載)

また本年も御嵩冨士支部の皆様により、当日受付にご協力いただきました。紙面にて厚く御礼申し上げます。

※会員の皆様へ

この度の開創五十四周年大祭には、大勢の索の会々員のご参拝をいただき厚く御礼を申し上げます。

当日出席された皆様には、すでにご祈念札をお授けいたしましたが、ご欠席された会員の方でご希望の方は、本年十二月末日までにご来山いただき、本堂右側総受付にてお申し出くださいませ。

索の会事務局

総本山智積院 参拝旅行実施

▌丸山成田山講支部 ▐

丸山成田山講支部（支部長＝市川健次郎氏）では、十月二十日索の会の発展と支部員の親睦を深めるため、総本山智積院の参拝を兼ねた親睦旅行を実施しました。

当支部担当の今井僧都、並びに参加者四十名は午前七時に犬山を出発、昼食は芋棒料理を堪能して京都三大祭りの一つ「時代祭」を見学しました。

その後、総本山智積院を訪れ、法務部に勤められる市塚僧都のご案内の元、「金堂」にて法楽参拝、庭園及び国宝障壁画を見学、市塚僧都によるきめ細やかな説明に参加者一同熱心に聞きいっていました。午後七時には無事犬山へ到着、充実した親睦旅行となりました。

鈴木記

物故者慰霊法要並びに役員会開催

▌岐北月参講講支部 ▐

岐北月参講支部（支部長＝鈴木博氏）では、十月二十八日に午前十時より当山弘法堂において物故者の慰霊法要を営み、その後サンパーク犬山に場所を移し、役員会を開催しました。

役員会では鈴木支部長の挨拶に始まり、次に会計より収支決算報告、引き続いて来年五月の大本山成田山新勝寺御開帳参拝の計画、当山開創五十五周年事業協賛についての話し合いがなされました。

役員会の終了後は懇親会が催され、賑やかな雰囲気の中で、今後の支部運営についての活発な意見交換が繰り広げられました。

山口記

役員会開催

▌小牧支部 ▐

小牧支部（支部長＝後藤鎭子さん）では、十月九日地元にて役員会を開催しました。

役員会は、事務局の名鉄小牧駅により始まり、副支部長の名鉄小牧駅長の挨拶が行われました。議題は、平成二十年御開帳の本山旅行についての具体的な計画が出され、実施することになりました。

また、当日は役員異動もありました。

最後に毎年恒例となりました犬山成田山への団体参拝を平成二十年も五月三日に行うことを決議し、その後懇親会が行われ、和やかな雰囲気で終了しました。

遠山記

役員異動

伏見口支部

【新　任】

（評議員）奥村芳幸

（〃）奥村章二

成田山索の会特別企画

大本山成田山新勝寺開基1070年祭記念大開帳 参拝旅行のご案内

平成20年は大本山成田山新勝寺成田山開基1070年にあたり、4月28日から5月28日まで記念大開帳が奉修されます。その吉縁に併せ成田山索の会事務局では参拝旅行を企画し、ただ今参加者を募集いたしております。【写真は開基1060年祭記念大開帳（平成10年）にて大本堂前での儀式】

隅田川遊覧船の旅
1泊2日のお手軽参加コース
5月12日（月）～13日（火）　1泊2日
【限定200名　旅行代金：28.000円】
世界遺産日光東照宮の旅
2泊3日のゆったりコース
5月12日（月）～14日（水）　2泊3日
【限定100名　旅行代金：46.000円】

※お申し込み・お問い合わせは、(0568)61-2583　FAX(0568)61-8030(信徒課　担当 山口・青山)
主催：成田山名古屋別院索の会　企画・実施：名鉄西部観光バス一宮旅行センター　(0586)47－6662

十月の大護摩供 修行者芳名

（順不同敬称略）

名古屋市　港トラック成田講
瑞穂市　丸門建設㈱
岐阜市　丸門運輸㈱
〃　㈲丸門
東近江市　滋賀丸門運輸㈱
〃　㈱丸門
名古屋市　山崎製パン㈱
　名古屋工場
〃　㈱ビリーブ
犬山市　吉田貴之
各務原市　長縄すみ子
岐阜市　名鉄西部名電会
加茂郡　㈱白川園本舗
静岡市　静岡成田講
可児市　伏見口成田講

銅板協賛者芳名

（順不同敬称略）

十月

小牧市　本間製パン㈱
岡崎市　名古屋鉄道㈱
　舞木検査場親睦会
弥富市　㈱浅井合板工場
長野県　海禅寺
　浅井宏幸
　飯岡俊勝

名古屋市　寺澤彰規
〃　井上英子
〃　伊藤富
〃　古田洋子
〃　宮下由三
〃　吉田愛子
〃　寺澤洋子
〃　寺澤彰規

春日井市　林和子
〃　林喜佐雄
〃　林眞義
〃　小川有二
一宮市　春日みち子
〃　春日利之
〃　春日隆良
〃　春日啓孝
瀬戸市　加藤英俊
〃　藤田豊秋
〃　藤田喜代子
〃　加藤弘子

以下来月号に掲載

おくやみ

館にて営まれました。
喪主は曽我重則氏。

大野彰氏

当山特縁、元岐阜乗合自動車会長大野彰氏は、十一月十二日に逝去されました。
告別式は、十一月十五日に名古屋市千種区のいちやなぎ中央斎場にて営まれました。
喪主は大野鈴子さん。

曽我金市氏

索の会土田成田講支部支部長曽我金市氏は、十一月四日逝去されました。
告別式は、十一月六日可児市今渡の清香苑日本ライン会

お詫び

先月号新聞二面において、**開創五十四周年記念大祭奉修**と本来掲載するところを、開創　周年記念大祭奉修と誤って掲載しました。
深くお詫び申し上げます。
また、十月の登山講社は来月号に掲載いたします。

紙上書道展

北方小六　中井　未有希
【評】一点一画堂々と書けています。

北方小六　山田　万太郎
【評】素直な線で形良くまとまっています。

黒田小四　栗原　未理亜
【評】のびのびとさわやかに書けています。

貞奴忌奉修

十二月七日（金曜日）

貞奴追善法要　（午前十時　霊廟）
諸芸上達大護摩供
（午前十時三十分　本堂）
ソプラノ歌手金光順子さんによる歌の奉納
（午前十一時　本堂）

貞照寺開山川上貞奴女史を偲ぶ「貞奴忌」が、女史の命日に当たる十二月七日に奉修いたします。
当日は、右記の如く、
○貞奴追善法要
○諸芸上達大護摩供
○ソプラノ歌手金光順子さんによる歌の奉納【写真】
を執り行います。
金光さんは、ドイツ歌曲、イタリア歌曲、ミュージカルや映画音楽など幅広いジャンルの音楽を抒情的に歌うマルチ歌手として東海地区を中心に活躍されています。
たくさんのご来山をお待ち申し上げております。

登録有形文化財
諸芸上達・芸能の寺
成田山貞照寺

各務原市鵜沼宝積寺町
5 － 189
電話（058）384 － 0202
FAX（058）213 － 6083

写経会

十二月二十三日
（第四日曜日）

平成二十年 新春 お正月ご祈祷 ご祈祷のご案内

当山では新しい年を迎えるに当たり、新春お護摩ご祈祷を厳修いたします。お不動さまのご分身ご分霊でありますお護摩札をお受けいただき、明年が健やかな一年でありますようお祈り申し上げます。

ただ今、新春ご祈祷の前申し込みを受付しております。年始は各受付所が大変混雑いたしますので、年内に予約申し込みを下さいますようお勧め申し上げます。（詳細はホームページにてご案内しております）

本堂でのお護摩厳修時間

日	時間			
元　日	0：00	1：30	3：00	5：00
	7：00	9：00	10：00	11：00
	12：00	13：00	14：00	15：00
	16：30			
自2日〜至5日	7：00	9：00	10：00	11：00
	12：00	13：00	14：00	15：00
	16：30			
自6日〜至10日	7：00	9：00	10：00	11：00
	12：00	13：00	14：00	15：00

尚、1月中の土・日・祝日に際し、午前10時・正午・午後2時もお護摩厳修いたします

本堂お護摩

お護摩ご祈祷料
- 一金　三千五百円以上
- 一金　五千円以上
- 一金　一万円以上
- 一金　二万円以上

大護摩ご祈祷料（芳名を掲示いたします）
- 一金　三万円以上
- 一金　五万円以上

交通安全 自動車ご祈祷

ご祈祷厳修時間

元　日　午前零時〜午後九時
二　日　午前五時三十分〜午後八時
三　日　午前六時〜午後八時
四日以降　通常通り

交通安全自動車ご祈祷料
- 一金　三千五百円以上
- 一金　五千円以上
- 一金　一万円以上
- 一金　二万円以上

（一万円以上の芳名を掲示いたします）

お護摩ご祈祷札のご案内

一金　三千五百円以上

一金　五千円以上

一金　一万円以上

一金　三万円以上

一金　五万円以上

自動車交通安全御守札

一金　三千五百円以上

一金　五千円以上（金蘭守）

一金　一万円以上（紫金蘭守）